

令和2年1月20日
開業企画課 紙谷、朝井
内線 3622、3626
直通 076-225-1317

『「加賀の國」の魅力発見フォトコンテスト』
入賞作品の決定について

令和5年春の北陸新幹線県内全線開業に向けた気運の醸成を図るため実施した、新幹線延伸地域の南加賀6市町を舞台としたフォトコンテスト（募集期間：令和元年8月20日～10月31日）の入賞作品が決定しましたので、お知らせします。

1. 募集内容

【風景部門】南加賀の美しい風景や景観など、自然の魅力を感じられる作品を募集する部門

【文化伝統部門】南加賀の歴史や文化の魅力を感じられる作品を募集する部門

【おすすり部門】南加賀の住民や観光客がおすすりする南加賀のもの・場所・ことを広く募集する部門

2. 応募総数

1,026点

2. 選考方法

フォトコンテストを運営する東京カメラ部株式会社及び石川県で選考

3. 入賞作品

3部門でそれぞれ最優秀賞1点、優秀賞2点、入賞2点、合計15点の入賞作品を決定（詳細は別紙のとおり）

入賞作品は下記サイトからご覧いただけます。

<http://ishikawa.review.minpos.jp/contest2019/results/>

4. 入賞作品の活用について

入賞作品を県庁19階展望ロビーに展示するなど、全線開業をPRするツールとして活用

5. 問い合わせ先

石川県企画振興部開業企画課

〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地

電話：076-225-1317

『「加賀の國」の魅力発見フォトコンテスト』 入賞作品

風景部門

最優秀賞

恵みの秋雨（西田 恭史）



那谷寺（小松市）

※以下の順に掲載

作品タイトル（応募者名）

作品

撮影場所等（市町）

受賞者による作品解説

＜受賞者による作品解説＞

雨の日の橋の上に浮かび上がった和傘リフレクションと落ち紅葉。毎年、紅葉の時期になれば雨の日を狙って、ワクワクしながら訪問し撮影しています。降雨日数が日本一多いと言われている石川県ですが、私にとっては雨も含めて石川の魅力です。

優秀賞

夕映えに遊ぶ（吉田 恭章）



小松市から加賀市にかけての干拓地

＜受賞者による作品解説＞

白鳥が飛来する加賀干拓地には、農家の方が白鳥のために冬でも水田に水を張ってくれています。この日は夕映えに輝く白山、そしてその中に浮かび上がる白鳥たちが、辺り一面に幻想的な風景を作り出していました。

優秀賞

姥ヶ滝の秋（asa）



姥ヶ滝（白山市）

＜受賞者による作品解説＞

岩肌に流れる幾筋もの水の流れが白髪の老婆の髪のように見えます。白山白川郷ホワイトロード内にある滝の中でも一番好きな滝です。

入賞

蟹の淵（タケベハルタカ）



蟹淵（能美市）

<受賞者による作品解説>

民話に伝わる、大蟹が棲むと言われる蟹淵。ルリイトンボやモリアオガエルが生息する自然豊かな水辺ですが、どこか人を寄せ付けない不気味な雰囲気をまとっています。しかしながら、新緑の晴れた初夏の早朝には、爽やかな風景を見せてくれました。

入賞

冬から春へ（南 喜則）



木場潟公園（小松市）

<受賞者による作品解説>

子供の頃から何度も見てきた木場潟公園からの白山の眺めの中でもっとも美しいと感じるのが桜のシーズン。この眺めの素晴らしさを知っていただけたら幸いです。

文化伝統部門

最優秀賞

歌舞伎と生きる町（笹尾 康弘）



曳山子供歌舞伎（小松市）

<受賞者による作品解説>

本作は小松市の小学生が演じる曳山子供歌舞伎の一幕を撮影したものです。見てくださいこの流し目!!難しい台詞を子供が覚えるだけでも大変なのに、それを表情豊かに演じてしまうとは、並の練習量で出来ることではありません。本作を機に、多くの方が小松の歌舞伎文化に興味を抱いて下さると嬉しい限りです。

優秀賞

怒涛のラッパ隊（細川 寛太郎）



美川おかえり祭り（白山市）

<受賞者による作品解説>

約700年の歴史を持つ白山市美川の「おかえり祭り」にて。地元の青年団の鳴らす勇壮なラッパの音色にはとても勇気づけられます。今回の受賞で少しは地域振興に燃える彼らのお役に立てたのではないかと思います。

優秀賞

伝統文化の継承（橋本 由香子）



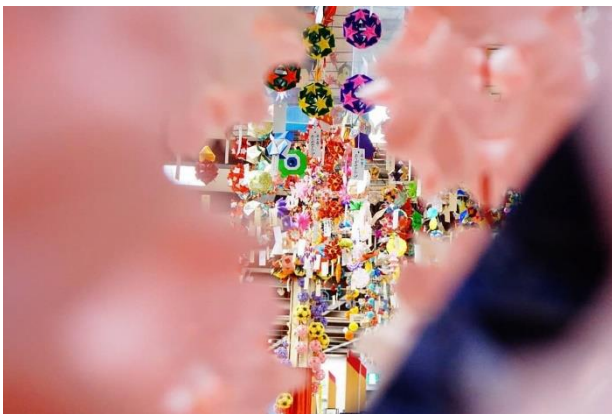
九谷焼（小松市）

<受賞者による作品解説>

人から人へ、手から手へと受け継がれ、今もなお加賀百万石文化を継承している伝統工芸は、石川県の誇りのひとつであると思っています。この企画を通して、改めて地元石川県・南加賀地区・小松市の魅力と伝統文化の素晴らしさを再確認させて頂きました。また、以前に伝統工芸に携わっていた者として、このような形で加賀の國の文化伝統を発信出来ることを大変嬉しく思います。

入賞

万華鏡世界（しょへ）



日本折紙博物館（加賀市）

<受賞者による作品解説>

石川県の観光と言えば金沢の兼六園や七尾の和倉温泉を思い浮かべる方が多いと思いますが、加賀市にある日本折紙博物館という施設をご存知でしょうか。ここには折紙で作られたとは思えない様々な景色が広がっています。私は人間が作り上げた努力の結晶ともいえる日本折紙博物館の作品達に魅了され、全国の皆様へ発信したいと思い、この作品を応募しました。石川県へ足を運んだ際はぜひお立ち寄りください。

入賞

人形浄瑠璃・でくの舞（海道 正人）



尾口の木偶回し（白山市）

<受賞者による作品解説>

約350年伝承されている人形浄瑠璃『でくの舞』にかける住民の皆様の心意気・熱意に感動しました。

おすすめ部門

最優秀賞

夏の夜空に咲く花 (Kentaro Kanda)



納涼花火まつり (片山津温泉 浮御堂 (加賀市))

<受賞者による作品解説>

加賀市の片山津温泉では毎年8月に、毎晩約10分間の花火が柴山瀉の湖上を彩る「納涼花火まつり」が開催されます。間近に打ち上がる花火を浮御堂から眺めている人達の様子を、夏の片山津温泉の1コマとして切り取りました。8月の片山津温泉、夏の素敵な思い出にぜひおすすめです。

優秀賞

秋の白山比咩参道 (高野 ヒデキ)



白山比咩神社 (白山市)

<受賞者による作品解説>

こちらの写真は毎月参拝へ行っている白山比咩神社です。秋に色付いた木々と参道の苔景色のコントラストが綺麗で、思わず歩みを止めてしまいました。こうして毎月通っている好きな場所の写真が入賞して嬉しいです。

優秀賞

手筒花火～火を操る男衆～ (高橋 市朗)



サマーフェスティバル HAKUSAN (白山市)

<受賞者による作品解説>

毎年8月に松任総合運動公園でサマーフェスティバル HAKUSAN が開催される。会場では午前中から多くのイベントが開催されているが、やはり最後の手筒花火は圧巻です。大きく長い筒から噴射される火の粉は空高く上がり、そのまま男衆に降りかかる。火の粉が雨のように降り注ぐ中、ものともせず筒を持ち続ける姿がなんとも素晴らしかったです。

入賞

癒しの苔庭 (斎藤 俊治)



苔の里 (小松市)

<受賞者による作品解説>

加賀の写真仲間からの情報で訪れました。苔庭の有名な寺院は何か所か行きましたが、この地域は苔をテーマに地域全体が保護・養生に取り組んでいて素晴らしいですね。

入賞

TU☆BA☆KI (hayato)



野々市中央公園 ののいち椿館 (野々市市)

<受賞者による作品解説>

野々市中央公園にあります、ののいち椿館にてこの作品を撮らせていただきました。初めて訪れた場所ではありましたが、素晴らしい場所で感動しました。